



No 2776

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗

有田

担当：橋本委員

第2640地区
 例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創立 昭和34年6月15日
 ホームページ
<http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

テーマ



世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

テーマ



奉仕の理想車を走らせよう!!

Let's drive your ideal car of the service!!

本日のプログラム

平成28年4月7日 第2777回

- ・ 会員卓話：浅井 修一郎 君
「県政あれこれ」
- ・ ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

平成28年4月14日 第2778回

- ・ 会員卓話：橋爪 正芳君
「様々な出会いが成長させてくれる」
- ・ ソング：「我らの生業」

前回の報告（第2776例会）

開催日 平成28年3月31日(木)

点鐘 (中元会長)

ゲストの紹介 (橋爪(誠)親睦活動委員長)

ゲスト：渡辺 俊幸 様 (有田市立病院 副院長)

会長の時間 (中元会長)

本日は、先週に引き続きロータリーの目的(OBJECT OF ROTARY)についてお話ししたいと思います。

まず、ロータリーの目的を読みます。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の項目を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を



推進すること

以上が「ロータリー目的」、すなわち、“Object of Rotary”であります。この原文の“Object of Rotary”が単数形であることより、ロータリーの目的はただ一つであります。すなわち、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」という主文の言葉がそれであり、この主文が、まさしくロータリーの唯一の目的であります。

後に続く4項目は、主文の目的を達成するためにロータリアンが如何に行動・実践すべきかが書かれています。つまり、この主文の補足条項となります。

先週は、主文と第1項、第2項について説明させて頂いたので、本日は残りの補足条項である第3項、第4項について考えてみたいと思います。

第3項は「ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること；」

これはロータリアンとしてはもちろんのこと、個人としても、仕事や社会生活など、あらゆる場面で奉仕の理念を実際に用いるという意味になります。ロータリーの根本原理である「奉仕の理念」を単に理解するだけではなく、私たちが活動する色々な場面で実践し実現していかなければならないということの意味します。いくら素晴らしい考え方であっても、それを実践しなければ広まりもせず、育ちもせず、何ら役に立たないものに終わってしまいます。ここではロータリーの理念の實踐について述べています。

第4項は「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」

これは「国際奉仕に関する實踐」を示しています。

国際的な組織として、世界中の各クラブのロータリアンが手に手をつないで、国際理解や、親善、平和を推し進めることを意味します。言語、習慣、価値観、宗教、歴史、地理、気候、資源などの違う民族と国家が相互理解に努め親善を実現して、「奉仕の理念」を国際社会に普及させていくことは、非常に困難であります。

しかし、ロータリーは「奉仕の理念」に結ばれた職業人の世界的組織やロータリー財団の活動を活用してこの障害を乗り越え、その実現に努めることを究極の目的にしています。

以上、先週から引き続きロータリーの目的の主文および4つの項目について考えてきました。会員の皆さんは、ロータリーの目的をどのように解釈されていますか。もう一度ご確認して頂ければと思います。

幹事報告

(上野山(栄)幹事)

1. 福井ガバナーエレクト事務所より地区研修・協議会時の質疑応答についての文書が届く
2. ロータリーの友誌 4月号 (児島広報委員長へ)
3. 公益財団法人 米山梅吉記念館より「館報27号」、賛助会員への入会及び100円募金運動の案内、春季例祭の案内が届く
4. 他クラブ週報：田辺東ロータリークラブ (後方掲示)
5. 例会変更 (後方掲示)
6. 26日に行われた地区のクラブ奉仕関連委員長会議に出席してまいりました。脇村さんがクラブ雑誌・公共イメージ委員会委員長としてプレゼンテーションされた他、会員増強・維持委員会・クラブ拡大委員会・ロータリーの友代表委員・IT委員会より現況報告があり、垂井一ガバナー補佐の卓話、その後、7グループに分かれてのグループディスカッションが行われました。
7. 本日、例会終了後に国際大会参加者のミーティングを経済クラブにて開催します。

委員会報告

*社会・青少年奉仕委員会 (橋本委員長)
識字率向上運動への御協力をよろしくお願いいたします

します。

*親睦活動委員会 (橋爪(誠)委員長)

4月10日(日)にゴルフコンペを開催致します。参加予定の皆様に組み合わせ表をお配りいたします。また、当日の夕方には、春の親睦会も企画しておりますので、是非ご参加のほどお願い致します。

出席報告

(上野山(捷)例会運営委員)

本日の会員数 27名

(出席規定免除会員 9名)

出席会員数 23名

(出席規定免除会員 8名)

88.46%

3/10 96.00%

MU: なし

ニコニコ箱の報告

(中村SAA)

中元君：渡辺先生、ようこそお越しくださいました。本日の卓話よろしくお願ひいたします。

上野山(栄)君：有田市立病院渡辺副院長様、本日はお忙しい中、本会にお越し下さいましてありがとうございます。本日、卓話よろしくお願ひいたします。

成川(守)君：渡辺先生、ご苦労さまです。上野山幹事、スノーボード楽しんでますね！

松村君：渡辺俊幸先生、ようこそお越し下さいました。卓話楽しみです。

橋爪(誠)君：渡辺先生、本日の卓話ありがとうございます。勉強させていただきます。

上野山(捷)君：渡辺様、本日は勉強させていただきます。

児島君：渡辺先生、本日はご苦労さまです。卓話楽しく拝聴します。

橋本君：渡辺先生、本日の卓話よろしくお願ひします。

上野山(英)君：渡辺先生、本日卓話よろしくお願ひします。

岩橋君：渡辺先生、卓話よろしくお願ひします。

脇村君：渡辺先生、本日はよろしくお願ひします。

應地君：渡辺先生、卓話を楽しみにしています。

酒井君：渡辺先生、本日はお越しいただきありがとうございます。卓話よろしくお願ひいたします。

橋爪(正)君：渡辺先生、大変御多用な中をお越し下さりありがとうございます。

岩本君：松村様、昨日はありがとうございます。

本日は、社務のため中座させていただきます。

中村君：渡辺先生、いつもお世話になっております。本日の卓話よろしくお願ひいたします。

卓話

『中高年のための泌尿器科学講座』



有田市立病院
副院長

渡辺 俊幸 先生

中高年の方に関連する1. 排尿症状、2. 血尿、3. 前立腺がんについて講演させていただきました。

1. 排尿症状：中高年の方が泌尿器科を受診するきっかけとなる症状で圧倒的に多いものは、下部尿路症状です。下部尿路症状には、膀胱に尿をためる働きの異常（蓄尿症状）と膀胱が尿を出す働きの異常（排尿症状）があります。蓄尿症状の自覚症状には、頻尿、夜間頻尿、尿失禁などがあり、排尿症状には、尿放出力の低下、残尿感などがあります。蓄尿症状を呈する代表的疾患が『過活動膀胱』であり、排尿症状を呈する代表的疾患が『前立腺肥大症』です。前立腺は膀胱の真下に位置するミカンのような形をした臓器です。ちょうど、ミカンのど真ん中を尿道が貫いているようなイメージです。ミカンの実の部分が大きくなり中央の尿道を圧迫するために尿の出が悪くなった状態が良性的『前立腺肥大症』であり、ミカンの皮の部分に多く発生するのが『前立腺がん』だにご理解下さい。前立腺肥大症の治療には、薬物療法と手術療法がありますが、最近では薬物療法が主体です。よほど重症でなければ薬物療法で症状が改善します。『過活動膀胱』は、尿意切迫感（突然起こる我慢できないような強い尿意）を必須症状とした症状症候群です。性別に関係なく加齢とともに増加します。過活動膀胱の薬を内服することで「夜中にオシッコに行く回数が減った。」「尿意切迫感があるためにあきらめていたバス旅行に行けるようになった。」などと喜ばれる患者様がたくさんおられます。

2. 血尿：血尿は泌尿器科を受診するきっかけとなる主な症状のひとつです。膀胱炎や尿路結石の症状としても時々みられるものですが、それらの疾患では、通常血尿以外に排尿痛や腹痛などの症状を伴います。他方、腎盂がん、尿管がんおよび膀胱がんなどの尿路に発生するがんの初期症状では、痛みを伴わない肉眼的血尿であることが一般的です。特に中高年男性が痛みを伴わない肉眼的血尿を呈した場合は要注意です。是非、できるだけはやく泌尿器科

を受診してください。

3. 前立腺がん：前立腺がんは欧米で多い男性の悪性腫瘍ですが、我が国でも近年急激に症例数が増加しています。PSAという腫瘍マーカーを血液で調べることで



スクリーニング検査が可能となり、早期の前立腺がんが発見されるようになりました。本講演では、前立腺がんの診断から治療までの流れを紹介しました。治療法としては、最新のロボット支援下前立腺全摘除術（ダヴィンチの手術）を紹介し、前立腺がん特有の薬物療法であるホルモン療法の概略を説明しました。50歳以上の男性の方は、是非、年に一度はPSA検査を受けるようにして下さい。

閉会・点鐘 (中元会長)

日程	4月の例会プログラム
4/7(木)	会員卓話 浅井 修一郎 君 「県政あれこれ」
4/14(木)	会員卓話 橋爪 正芳 君 「様々な出会いが成長させてくれる」
4/21(木)	会員卓話 成川 守彦 君 「ロータリーの歴史・・・ 決議23-34」
4/28(木)	会員卓話 宮井 清明 君 「商工会議所と私」 会員卓話 中元 耕一郎 君 「地区の現状について」